

令和8年度 数字で見る新発田市



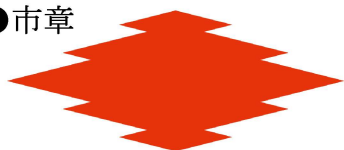
目次

新発田市・各地区の紹介ほか...	2・3
気象・土地利用状況.....	4
人口・産業.....	5～7
商業・市民経済.....	8
工業.....	9
農業.....	10
保健・福祉・教育.....	11・12
都市整備.....	13
財政・公園.....	14・15
観光・保存樹木.....	16・17
指定文化財一覧ほか.....	18・19
市内施設.....	20～25
名誉市民・歴代市長ほか.....	26～29
新発田市のあゆみ.....	30～35
市民のくらし.....	36



■新発田市を紹介します

●市章



五階菱

新発田藩歴代藩主溝口家の紋章を市章にしました

●市の花：あやめ



●市の木：さくら



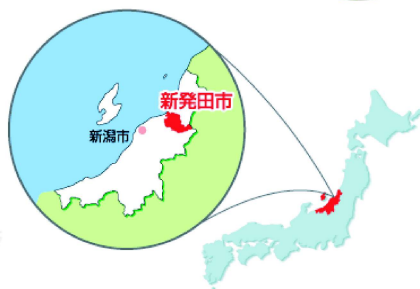
●市の位置

北緯 37° 47'17"～38° 02'58"

東経 139° 14'30"～139° 40'55"

最北.....藤塚浜 最東.....東赤谷

最南.....東赤谷 最西.....佐々木



●友好都市

ウィジョンブシ
大韓民国議政府市
チョンゴウツブ
大韓民国全谷邑
石川県加賀市

●姉妹都市

アメリカ合衆国オレンジ市
アメリカ合衆国セントジェームズ市
長野県須坂市

新発田市は、越後平野（新潟平野）の北部に位置し、県都新潟市に隣接する都市です。面積533.07km²（令和8年1月1日国土地理院公表）、人口9万219人（令和8年3月末現在）です。

北西には白砂青松と形容される美しい海岸が広がり、南東の山岳地帯には豊かな自然景観に恵まれた磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園があります。また、かつて東洋一といわれた堤桜を有する加治川の水系によって潤う肥沃な土地が広がっており、県内有数の良質米コシヒカリの産地でもあります。

江戸時代末期には10万石の城下町として栄えた新発田。現在も国の重要文化財となっている新発田城表門や旧二の丸隅櫓、足軽長屋など、城下町新発田の文化遺産をまちの随所にとどめています。そして平成16年には、城下町新発田の新しいシンボルとして、また、未来を担う子どもたちへの贈り物として新発田城三階櫓・辰巳櫓が復元されました。

昭和22年に市制を施行してから、昭和30年に五十公野、米倉、赤谷、松浦、菅谷、川東の6村、昭和31年に加治川村の一部、昭和34年に佐々木村と合併しました。平成に入り、15年7月7日に豊浦町と、また17年5月1日には紫雲寺町・加治川村と合併しました。

城下町の歴史と文化、全国的にも有名な月岡温泉、山から海までの豊かな自然など、たくさんの魅力を持つ新発田市は、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」を目指し、これからも発展していきます。

■各地区の紹介



れんぎょう



ムクゲ



きく



さくら草



秋桜



芝ざくら

紫雲寺地区の花



松

紫雲寺地区の木



あじさい

豊浦地区の花



梅

豊浦地区の木



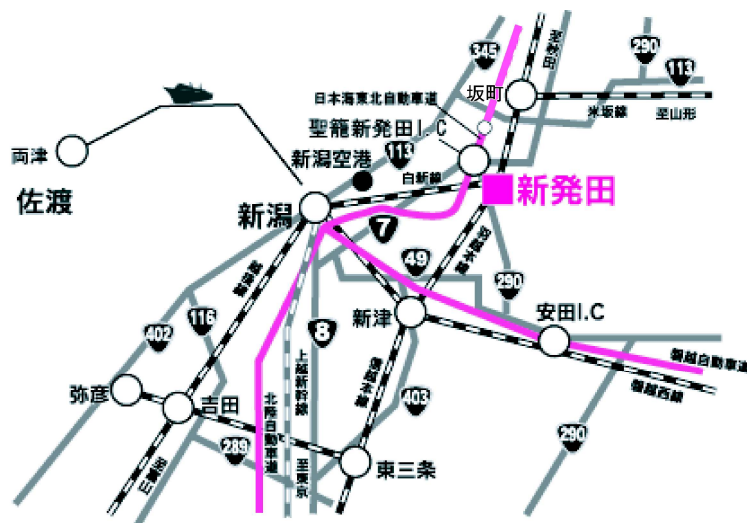
桜

加治川地区の木

地区の花・木とは

合併後、新発田市の花・木はそれぞれ「アヤメ」と「サクラ」で統一されました。これにより、合併前の豊浦町・紫雲寺町・加治川村の花・木は、今後、それぞれの「地区の花・木」として伝承していくこととなりました。

■新発田市へのアクセス



●日本海沿岸東北自動車道

区間は新潟～青森間322km。昭和49年に新潟、青森、秋田、山形の4県で建設促進期成同盟会を結成、58年には県北24市町村で同様の建設促進新潟地区期成同盟会を結成し、早期実現に向けた運動を展開しています。

新潟県分は、平成5年11月に新潟～中条間27.5kmに施工命令が出され、8年8月建設工事に着手。10年4月には中条～荒川間9.8kmの、同年12月には荒川～朝日間20.4kmの施工命令が出されました。14年5月には同自動車道の県内初の開通となる新潟空港IC～聖籠新発田IC間（日本海東北自動車道）の供用が開始。23年3月には朝日まほろばICまで開通しました。

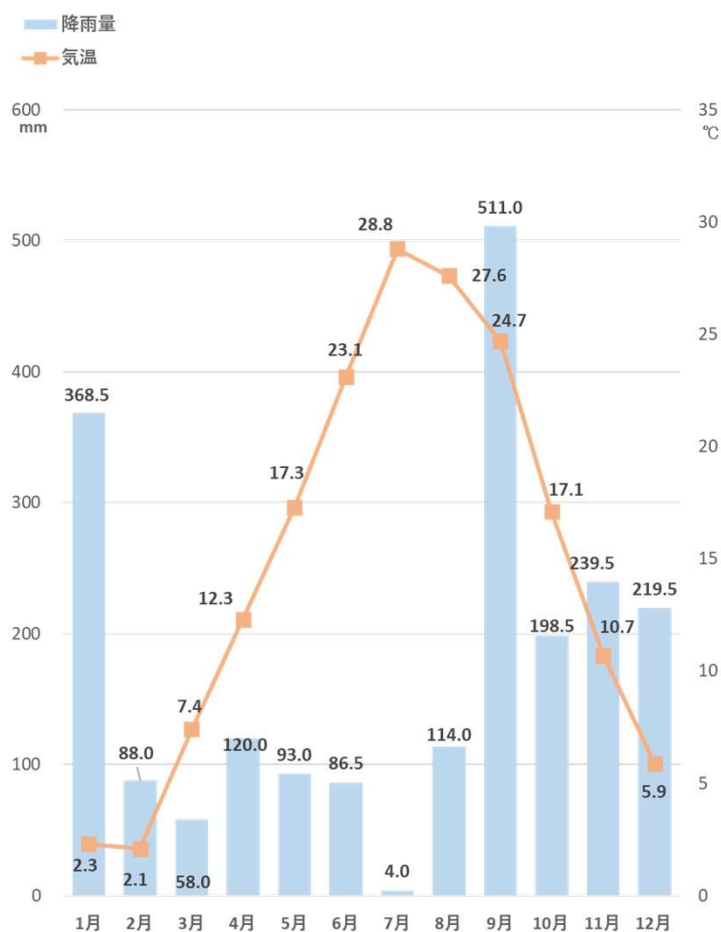
●磐越自動車道

昭和60年2月、建設大臣から日本道路公団総裁に新潟～津川間の施工命令が出され、平成元年建設工事に着手、6年7月には新潟～安田間の供用が開始されました。9年10月には最後の未供用区間であった西会津～津川間が開通し、全線開通しました。現在は、新潟県と福島県、仙台をはじめとする東北地方、北関東など、たくさんの方に利用され、産業、交通の大動脈となっています。

J R	秋田方面から	羽越本線－新発田駅下車
	東京方面から	上越新幹線－新潟駅－白新線－新発田駅下車
	大阪方面から	信越本線－新潟駅－白新線－新発田駅下車
空 路	新潟空港より車で30分 新潟空港→シャトルバス（約20分）→新潟駅	
車	北陸自動車道	関越・北陸自動車道－日本海東北自動車道－聖籠新発田IC
	磐越自動車道	安田IC－国道290号－新発田市

■ 気象

● 令和7年月平均気温・降水量
(資料提供：新発田消防署)



● 過去5年の最大積雪深 (単位：m)

年度	R3	R4	R5	R6	R7
市街地	0.71	0.86	0.43	0.89	0.76
赤谷	1.68	1.38	0.67	2.03	1.70
菅谷	0.96	1.36	0.64	1.73	0.91
豊浦	0.50	0.75	0.52	0.79	0.30
紫雲寺	0.28	0.39	0.32	0.34	0.35
加治川	0.53	0.85	0.53	0.68	0.67
平均	0.78	0.93	0.51	1.08	0.78



■ 土地利用状況 (令和8年1月1日現在)

区分	面積(km ²)	構成比(%)	区分	面積(km ²)	構成比(%)
田	99.66	18.7	牧場	0.23	0.05
畑	17.61	3.3	原野	5.86	1.1
宅地	24.61	4.6	雑種地	11.14	2.1
池沼	0.26	0.05	その他	308.19	57.8
山林	65.51	12.3	計	533.07	100

※山林は国有林（無地番）を除く。

※その他は国有地（無地番）・国有林（無地番）を含む。

資料：令和8年度土地概要調書

■人口

合併前のデータは、旧豊浦町・紫雲寺町・加治川村分を合算した数値。

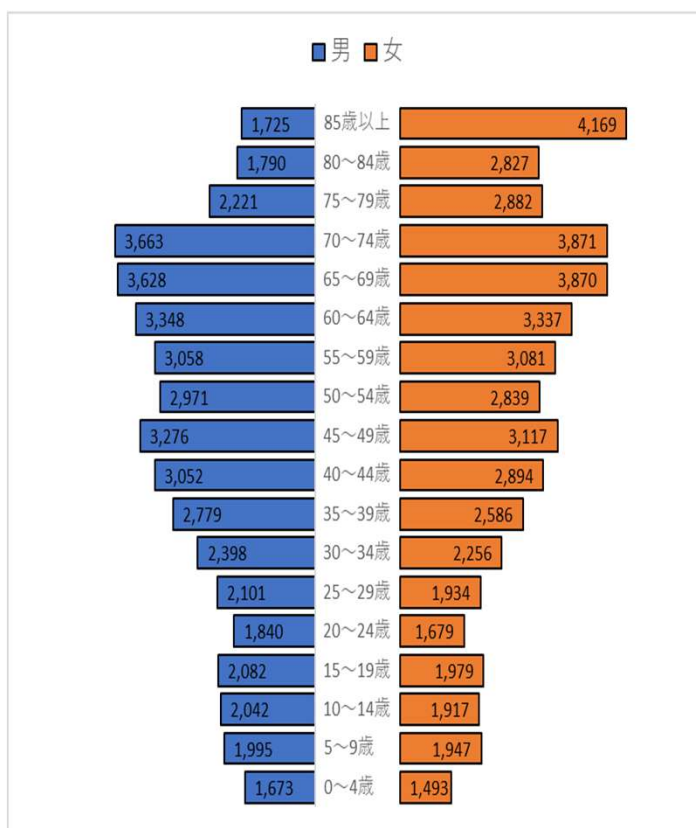
●人口・世帯数の推移

年次	人 口			対前回の人口増減		世帯数	1世帯の 平均人員
	総数	男	女	実数(人)	率(%)		
平成12年	106,016	51,244	54,772	-547	-0.5	31,925	3.29
平成17年	104,634	50,431	54,203	-1,382	-1.3	32,958	3.12
平成22年	101,202	48,606	52,596	-3,432	-3.3	33,445	2.97
平成27年	98,611	47,412	51,199	-2,591	-2.6	34,186	2.82
令和2年	94,927	45,963	48,964	-3,684	-3.7	35,191	2.63

※「1世帯の平均人員」は施設等の世帯を除いた一般世帯数をもとに計算される。

資料：令和2年国勢調査

●人口ピラミッド



資料：令和2年国勢調査

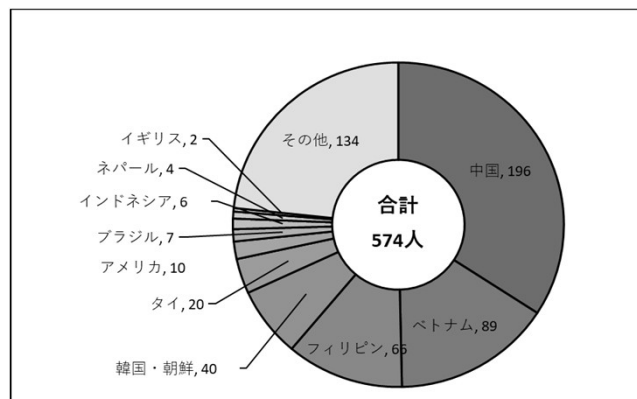
●年齢（3区分）別人口、高齢化率

年次	総数	不詳	年齢(3区分)別人口			高齢化率
			年少人口	生産年齢人口	老年人口	
平成12年	106,016	20	16,266	66,977	22,753	21.5%
平成17年	104,634	1	14,201	65,114	25,318	24.2%
平成22年	101,202	336	12,545	61,747	26,574	26.3%
平成27年	98,611	293	11,830	57,378	29,110	29.6%
令和2年	94,927	607	11,067	52,607	30,646	32.3%

※年少人口は0～14歳、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上を示す。

資料：令和2年国勢調査

●国籍別外国人人口



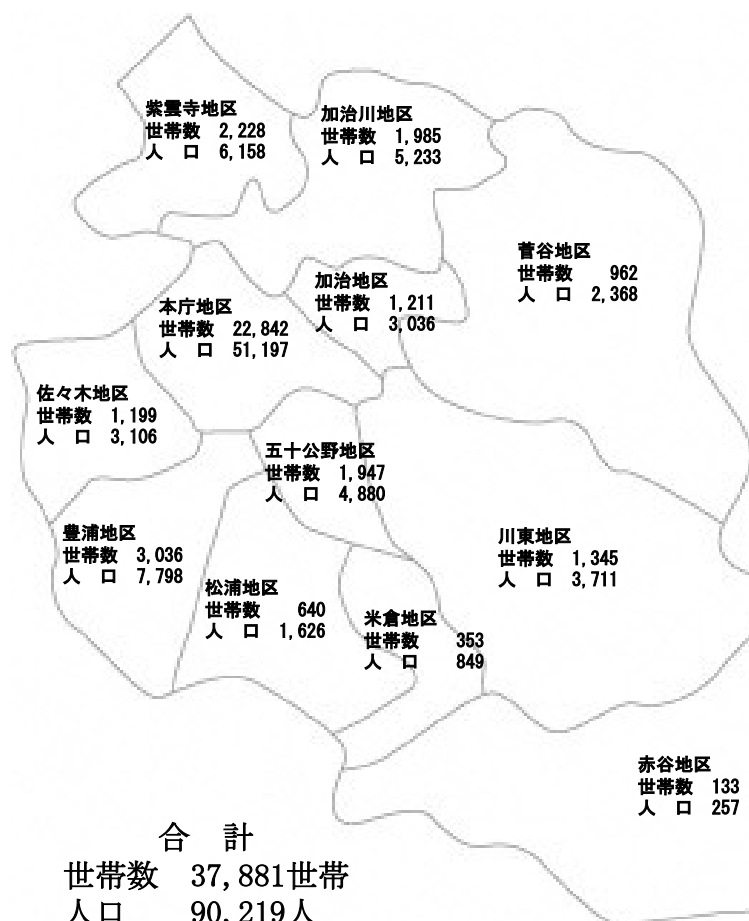
資料：令和2年国勢調査

●過去5年間の人口動態

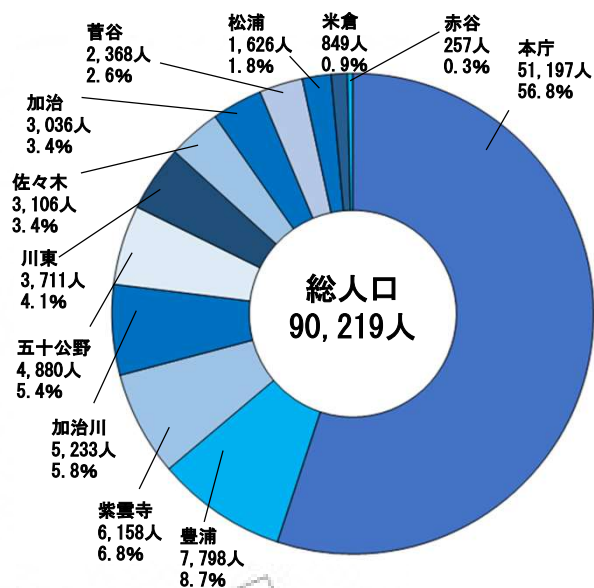
年次	1年間(10月1日～9月30日)の人口動態					
	自然動態			社会動態		
	出生数	死亡数	差引	転入者数	転出者数	差引
令和3年	562	1,342	-780	2,324	2,472	-148
令和4年	536	1,388	-852	2,461	2,653	-192
令和5年	497	1,512	-1,015	2,367	2,607	-240
令和6年	448	1,462	-1,014	2,327	2,507	-180
令和7年	419	1,483	-1,064	2,529	2,474	55

資料：新潟県人口移動調査

●地区別人口・世帯数（令和8年3月末現在）



●地区別人口比（令和8年3月末現在）

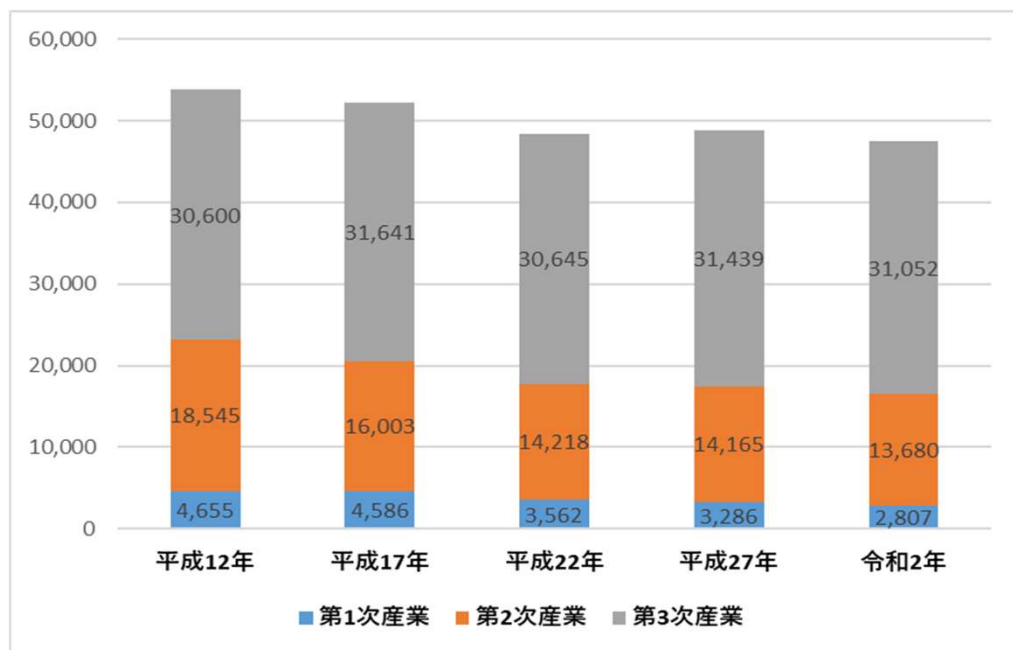


※数値は住民基本台帳人口による。

■産業

合併前のデータは、旧豊浦町・紫雲寺町・加治川村分を合算した数値。

●産業別就業人口の推移



- ※第1次産業
...農業、林業、漁業など。
- ※第2次産業
...工業、建設業など。
- ※第3次産業
...第1次産業・第2次産業のどちらにもあてはまらない産業。
商業、金融業、運輸業、情報通信業、サービス業など。

※第3次産業には分類不能の人数も含む。

資料：令和2年国勢調査

●事業所数・従業者数の推移

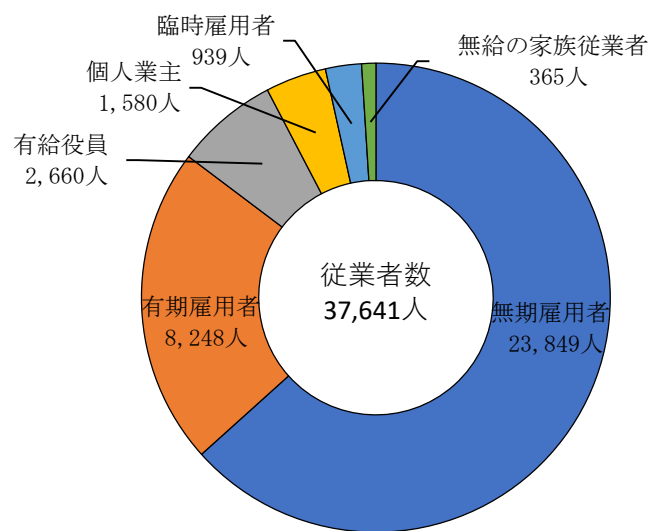
年 次	総数		民営事業所		国、地方公共団体	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
令和3年	4,137	43,223	3,965	37,641	172	5,582
令和4年	—	—	—	—	171	—
令和5年	—	—	—	—	171	—
令和6年	3,301	—	3,130	34,375	171	—
令和7年	—	—	—	—	167	—

※令和4・5・7年経済センサス基礎調査・乙調査は、国及び地方公共団体の事業所数のみを調査
※令和6年経済センサス基礎調査・甲調査は、雇用者のいない個人経営の事業所を除く
資料：令和3年は経済センサス活動調査、令和4・5・6・7年は経済センサス基礎調査

●産業別事業所数・従業者数（民営事業所のみ） ●従業上の地位別従業者数（民営事業所のみ）

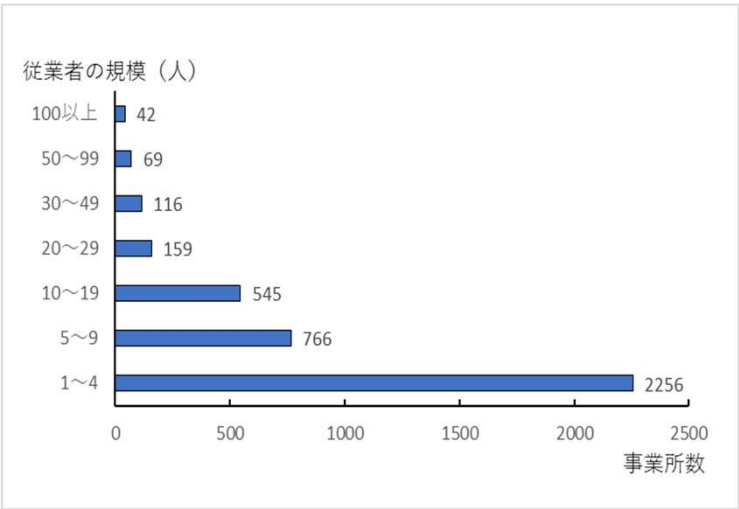
区 分	事業所数	従業者数
総数	3,965	37,641
農業、林業	93	1,291
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	2	33
建設業	460	3,474
製造業	242	7,762
電気・ガス・熱供給・水道業	4	119
情報通信業	17	77
運輸業、郵便業	61	1,330
卸売業、小売業	1,006	8,160
金融業、保険業	60	720
不動産業、物品賃貸業	196	517
学術研究、専門・技術サービス業	123	590
宿泊業、飲食サービス業	475	3,395
生活関連サービス業、娯楽業	458	2,043
教育、学習支援業	126	958
医療、福祉	343	5,126
複合サービス事業	31	381
サービス業 (他に分類されないもの)	268	1,665

資料：令和3年経済センサス活動調査



資料：令和3年経済センサス活動調査

●従業者の規模別事業所数（民営事業所のみ）



※全民営事業所のうち、12事業所は出向・派遣従業者のみ。
資料：令和3年経済センサス活動調査

商業

●年次別事業所数、従業者数、年間商品販売額、売場面積

年次	事業所数			従業者数(人)			年間商品販売額(万円)			売場面積 (㎡)
	総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	総数	卸売業	小売業	
平成19年	1,395	231	1,164	8,581	1,836	6,745	20,423,600	9,303,100	11,120,500	164,213
平成24年	1,013	173	840	6,513	1,300	5,213	17,161,400	7,681,000	9,480,400	149,548
平成26年	955	178	777	6,612	1,284	5,328	17,257,100	7,362,200	9,894,800	161,086
平成28年	986	169	817	7,322	1,352	5,970	19,062,100	7,576,600	11,485,500	161,303
令和3年	915	163	752	7,246	1,359	5,887	18,466,500	7,594,500	10,872,000	169,796

※売場面積は小売業のみ。
※年間商品販売額は百万円単位で公表。百万円以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。
資料：平成19年は商業統計調査、平成24・28・令和3年は経済センサスー活動調査、平成26年は経済センサスー基礎調査

●商業の概況（飲食店を除く）

産業（中）分類		事業所数	従業者数（人）	年間商品販売額 （百万円）	売場面積（㎡）
総数		915	7,246	184,665	169,796
卸売業	各種商品	1	7	X	
	繊維・衣服等	10	42	1,753	
	飲食料品	41	514	31,095	
	建築材料・鉱物・金属材料等	42	252	7,583	
	機械器具	38	359	14,262	
	その他	31	185	X	
	計	163	1,359	75,945	
小売業	各種商品	2	376	X	X
	織物・衣服・身の回り品	84	374	6,355	23,434
	飲食料品	225	2,282	27,770	29,548
	機械器具	133	836	23,438	16,635
	その他	287	1,908	X	X
	無店舗	21	111	1,278	—
	計	752	5,887	108,720	169,796

※「—」は該当数値がないもの。「X」は1または2事業所に関する数値が明らかになるため秘匿とする。
※年間商品販売額は、百万円以下を四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。
資料：令和3年経済センサスー活動調査

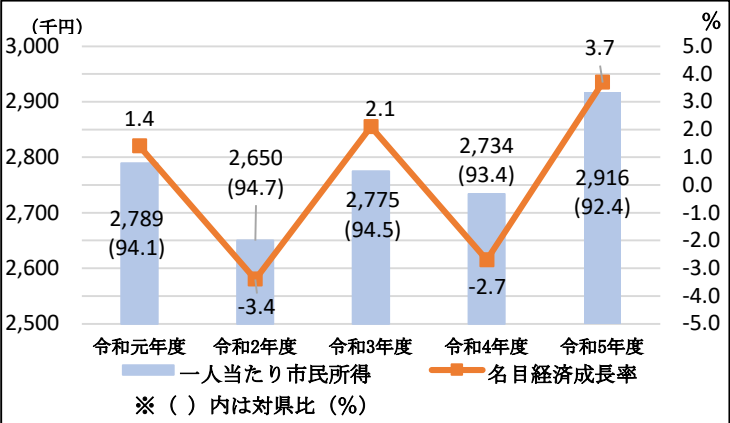
市民経済

●市内総生産額・産業別生産額

年度	総生産額 (百万円)	第1次産業 (百万円)	第2次産業 (百万円)	第3次産業 (百万円)
令和元年度	343,657	11,144	89,618	241,423
令和2年度	331,912	11,366	90,524	228,934
令和3年度	339,000	9,917	94,874	232,346
令和4年度	329,896	9,654	79,566	237,313
令和5年度	341,965	9,305	80,936	249,006

資料：令和5年度新潟県市町村民経済計算

●一人当たり市民所得、名目経済成長率



資料：令和5年度新潟県市町村民経済計算

■工業

●事業所数、従業者数、製造品出荷額等

年次	事業所数	従業者数 (人)	現金給与 総額 (万円)	原材料 使用額等 (万円)	製造品出荷額等(万円)					付加価値 額(万円)
					計	製造品 出荷額	加工賃 収入額等	くず廃物の 出荷額	その他 収入額	
平成29年	168	7,660	2,602,455	8,246,800	15,580,705	13,985,751	1,044,677	—	550,277	6,335,096
平成30年	159	6,961	2,532,925	7,491,273	14,088,023	12,447,319	1,152,800	—	487,904	5,694,483
令和元年	160	7,111	2,520,042	7,812,096	14,774,762	13,213,888	1,043,421	—	517,453	6,024,398
令和 2年	154	7,098	2,496,596	7,913,191	15,421,329	13,856,679	1,026,881	—	537,769	6,400,358
令和 3年	148	7,037	2,549,640	7,799,478	15,441,900	13,843,426	1,030,319	3,060	565,095	6,455,059

※従業者数が4人以上の事業所についての値。
※付加価値額については、従業者数が29人以下の事業所は粗付加価値額の値。
資料：平成29年から令和2年は工業統計調査、令和3年は経済センサスー活動調査

●工業の概況

産業中分類	事業所数	従事者数 (人)	製造品出荷 額等(万円)	粗付加価値 額(万円)
食料品	45	3,616	9,015,743	3,244,893
飲料・たばこ・飼料	3	152	456,712	206,137
繊維	22	318	125,441	81,041
木材・木製品	6	25	42,261	19,786
家具・装備品	3	19	20,820	7,207
パルプ・紙・紙加工品	3	102	542,263	172,473
印刷	7	286	682,412	235,564
化学	4	181	1,753,954	690,398
石油・石炭製品	—	—	—	—
プラスチック製品	6	80	100,061	28,703
ゴム製品	—	—	—	—
皮革製品	—	—	—	—
窯業・土石製品	11	206	660,918	243,371
鉄鋼	3	109	350,411	86,226
非鉄金属	1	17	X	X
金属製品	16	298	552,698	255,567
はん用機械器具	4	119	548,279	462,676
生産用機械器具	8	293	577,258	305,403
業務用機械器具	1	6	X	X
電子部品・デバイス	5	774	866,216	609,013
電気機械器具	1	42	X	X
情報通信機械器具	1	6	X	X
輸送用機械器具	1	53	X	X
その他	4	21	15,882	8,055

※「—」は該当数値がないもの。「X」は従業者規模別に集計したときに、1または2事業所に関する数値が明らかになるため秘匿とする。
※事業所数や従業者数は令和7年6月1日現在、製造品出荷額等の経理事項は令和6年1月～令和6年12月の実績。
資料：2025年経済構造実態調査



■農業

合併前のデータは、旧豊浦町・紫雲寺町・加治川村分を合算した数値。

●経営耕地面積規模別農業経営体数

年次	総数	経営耕地面積規模別経営体数						
		0.3ha未満	0.3～1.0未満	1.0～2.0未満	2.0～3.0未満	3.0～5.0未満	5.0～10.0未満	10.0以上
平成22年	3,179	15	635	1,039	659	479	271	81
平成27年	2,521	26	439	750	522	410	267	107
令和 2年	1,860	54	271	468	347	328	206	186

※平成22年及び平成27年は、販売農家（経営耕地面積が30 a 以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家）の値。

※0.3ha未満には経営耕地なしも含む。

資料：2020年農林業センサス

●農産物販売金額規模別農業経営体数

年次	総数	年間農産物販売金額規模別経営体数								
		販売なし	50万円未満	50～100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1000万円未満	1000～3000万円未満	3000万円以上
平成22年	3,179	53	375	545	1,431	337	134	110	159	35
平成27年	2,521	61	324	409	1,074	278	114	109	125	27
令和 2年	1,860	23	147	255	708	285	199		152	91

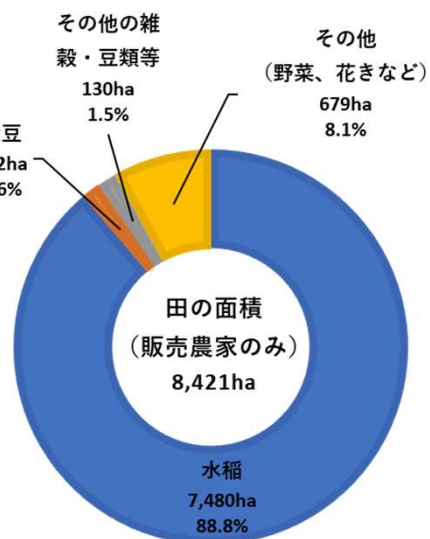
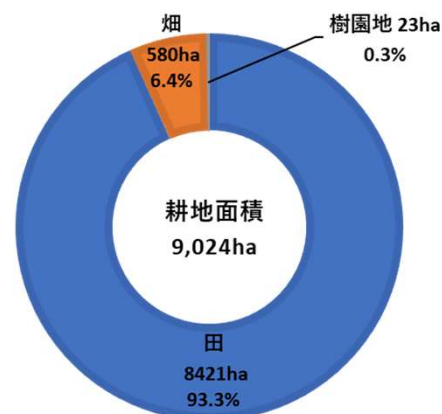
※平成22年及び平成27年は、販売農家（経営耕地面積が30 a 以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家）の値。 資料：2020年農林業センサス

●主な農畜産物収穫量及び頭羽数



資料：農林水産省作況調査及び家畜生産実態調査（令和8年2月1日現在）

●経営耕地の面積内訳



※販売農家とは、経営耕地面積が30 a 以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家を表す。 資料：2020年農林業センサス。